



Established in 1992

JCPF 会報

Japanese Cleft Palate Foundation
特定非営利活動法人 日本口唇口蓋裂協会

発行 特定非営利活動法人 日本口唇口蓋裂協会事務局

〒464-8651 名古屋市千種区末盛通2-11

愛知学院大学歯学部内

TEL: 052(757)4312 FAX: 052(757)4465

振込口座: 郵便局 00850-1-109941

三菱UFJ銀行覚王山支店 普通 1045666

http://jcpf.or.jp E-mail: jcpf@jcpf.or.jp

Vol. 32, No. 1
(令和5年6月20日発行)

109

口唇裂のかたの医療化粧の実際

あざや白斑などの皮膚疾患による色素異常、外傷や熱傷後の瘢痕など一般的に皮膚の気になる部分をカバー効果の高いファンデーションを塗り、目立たなくするメイク方法を「カバーメイク」と呼んでいます。また、各化粧品企業によって「カモフラージュメイク」、「リハビリメイク」、「メディカルメイク」など、それぞれ独自の呼称が存在します。資生堂では、このような肌に深い悩みをお持ちの方々へのカバーメイクを「ライフクオリティー メイクアップ」*1 と称し、“化粧のちから”を通じて、患者のQOL向上と社会支援を目指し、さまざまなサポート活動を行っています。

近年では、カバー専用ファンデーション（以下、ファンデーション）の種類の選択肢が広がり、どこにいても簡単にインターネットを通じて商品を購入できるようになりました。ただ、その一方で、皮膚症状の部位、範囲、色の濃淡、凹凸の有無など個人差があるため、自分自身に合ったカバー方法や色選択を知るための詳細な情報が得られにくい現状があります。また、どこに（誰に）相談すればよいかわからない、化粧品店で相談をしても対応が難しいのではないかと、他人に知られたくないなど、人知れず悩みを抱えてしまう場合や、学校生活や就労など社会生活の中で、いじめや偏見の対象とされるなどの支障が出る場合もあります。そのようなときに日常生活の中で、患者自身がセルフケアとして外見の悩みをカバーすることができれば、心理的負担の軽減につながります。そのために、外見の悩みを“安心して相談できる場”の存在が重要です。治療のために通院している身近な病院が相談しやすい場となり、カバーメイクの存在や情報を得られ、専門的な施設の紹介ができれば、患者の負担も減り、一歩踏み出す後押しとなり得ます。東京汐留の専門施設、「資生堂 ライフクオリティー ビューティーセンター」（以下、SLQセンター）〔図1〕では、医療機関からの紹介、インターネット検索、新聞、口コミなどをきっかけに訪れる方が多くいらっしゃいます。お一人おひとりの肌悩みを専任の美容技術者がカウンセリングを行い、化粧経験の有無に関わらず自身で実践できるようにメ



図1

資生堂 ライフクオリティー ビューティーセンター（東京汐留）

イクアドバイスをしています。未就学児～小学校低学年のお子様の場合は、事前に医師の承諾を得ていることを前提に予約をいただいています。皮膚疾患などの色の悩みや瘢痕などの凹凸には、カバー専用のファンデーション「パーフェクトカバーシリーズ」*2を用いてカバーを行った後、コンプレックスに感じている部分が目立たないように、魅力を引き出すポイントメイクの提案を行っています。その事例を人形で再現し、メイクテクニックをご紹介します。

口唇裂の手術後の状態は、個人差がありますが、こちらは、1例として人形で再現した写真です〔図2〕。左側は、素顔の状態を表現しています。右は、バランス補正後のメイクの状態です。他者からの視線がコンプレックスのある口元ではなく、目元に視線が集中するようにポイントメイクを行います。アイシャドウは、色彩、光沢のある質感などを組み合わせ、瞼の際にアイラインを描くことで、目を大きく立体的に見せます。鼻下の手術痕は、パーフェクトカバーを用いてカバーを行った後、薄いベージュ系のリップグロスでツヤ感を与えることで、唇の内側の傷を目立たないように立体的に仕上げます。治療が長期化することで、治療に対して前向きになれない、化粧を諦めて

いた、という声を耳にすることがありますが、少しずつ習慣化され、できるようになると、生き活きとした表情が生まれ、化粧を楽しめるようになったり、自信を取り戻すきっかけになるなど、自己肯定感や社会生活においても積極的に人と関わられるようになります。ライフクオリティー メイクアップは、お一人おひとりの自分らしさの美の実現に寄り添い、心まで豊かになっていただくことを目指しています。個別コンサルテーションでは、一緒に考え、工夫を凝らし、簡単にできる方法などその方に合わせた方法をアドバイスするように心がけています。遠方で来所が難しい方の場合は、全国カウンセリング店舗^{*3}の紹介を資生堂 ライフクオリティー メイクアップサイト上で案内しており、パーソナルツールとして、自身の症状に合ったカバー方法を探ることができる“お悩みメイクナビ”^{*4}や、自宅でレッスンできるようにテクニック動画を掲載しています^{*5}。

今後は、さらに医療機関と連携し、オンラインカウンセリングによるメイク相談を積極的に取り入れ、近い将来は、身体的な不安や障がいを抱え、外出が難しい方にも自宅でオンラインカウンセリングが受けられるように体制を整えていく予定です。そして、誰もが自分らしく安心して過ごせるように、これからも化粧のちからを通じて一人でも多くの患者の一助となれば幸いです。



左側：メイク前の状態

右側：パーフェクトカバー + バランス補正後のメイクの状態

図 2

人形で再現した口唇口蓋裂のメイクアップ例

資生堂ジャパン株式会社 美容戦略部
ライフクオリティービューティーセンター
メイクアップコンサルタント 青木 和香恵

*1 ●資生堂 ライフクオリティー メイクアップ
<https://corp.shiseido.com/slqm/jp/>



*2 ●パーフェクトカバーシリーズ
<https://corp.shiseido.com/slqm/jp/products/>



*3 ●全国カウンセリング店舗一覧
<https://corp.shiseido.com/slqm/jp/shop>



*4 ●お悩み別メイクナビ
<https://corp.shiseido.com/slqm/jp/makenavi/>



*5 ●使い方ムービー
<https://corp.shiseido.com/slqm/jp/products/movie.html>

